

(9) ドンコ (スズキ目ドンコ科)

① 分布

最上流域や最下流域の一部を除く集落

② 主に見られた場所

川, 水路, 池

③ 採録した呼び名

- ・ 標準和名等 ドンコ, ドンコツ, ドンゴ, ドンゴツ
- ・ 大型魚 ドンキュウ
- ・ 体型 フグ, フグタ
- ・ 簡単に取れることから アホ, アホタン
- ・ その他 アユクイドンコ, ガンプ, ダホ, ダマグ, ドタ, ドベ, ドボ, ドボコ, ドボンコ, ドモ, ドモコツ, ドモンコツ, ドング, ドングツ, ドング, ドンコチ, パバ
- ・ チチブ類等との混称 クロンボ, ドロンコ, ドロンコチ



④ 分布と呼び名について

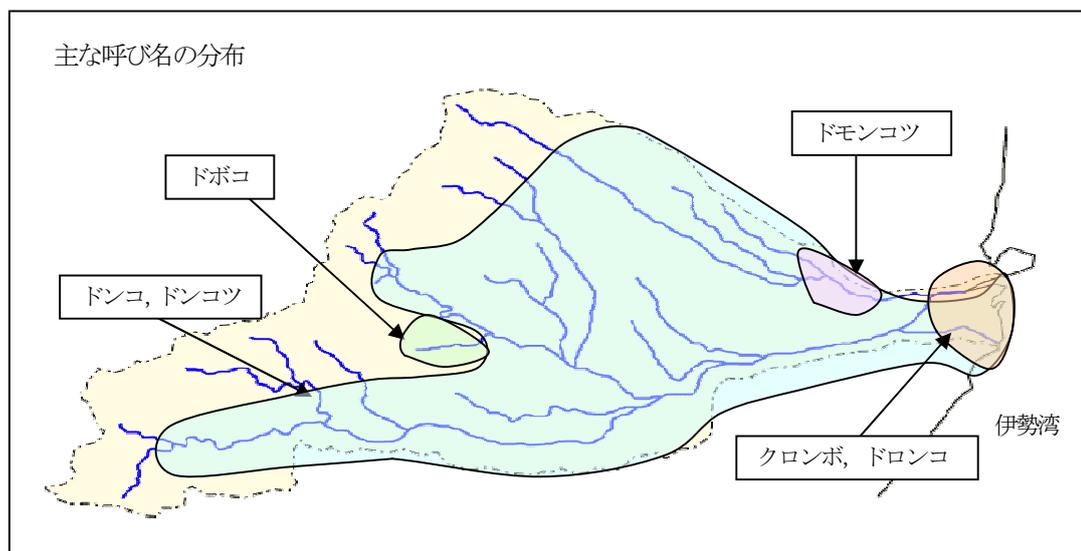
上流域から下流域にかけての川や水路などでよく見られたという。

呼び名としては、標準和名である「ドンコ」をはじめ、チチブ類、ヨシノボリ類との混称を含め計 29 種を採録した。

ほぼ流域全域で、「ドンコ」又は「ドンコツ」、「ドンゴ」、「ドンゴツ」と、標準和名又はそれに近い呼び名を採録した。一方、亀山市小川町では「ドボコ」、四日市市内部地区では「ドモンコツ」と呼ばれたほか、「ガンプ」、「ダホ」、「ドボ」等、地域的な広がりはないものの独特の呼び名も見られた。

また、大型魚を「ドンキュウ」、ずんぐりとした体型から「フグ」と呼ぶ集落も見られたとともに、動かさず素手でも比較的簡単に捕獲できることからの呼び名も採録した。

なお、最下流域の集落では「クロンボ」、「ドロンコ」など、チチブ類、ヨシノボリ類との混称となる傾向が見られた。



⑤ その他

本種とヨシノボリ類との区別は、最下流域の集落を除きほとんどの集落で明確であったが、上流域においては、カジカとの区別ははっきりとせず、混称となる傾向が見られた。

なお、本種を食べると口がうまく利けなくなるといい、食べる対象としていなかったという話を下流域の数集落で採録した。

(9) -2 ヨシノボリ類 (スズキ目ハゼ科)

① 分布

流域の全集落

② 主に見られた場所

川, 水路, 池など

③ 採録した呼び名

- ・ 石の上の姿 イシコツ, イシモチ, イシモツ
- ・ 吸盤から スイツキ, スイツキドベ, スイツキドンコ, スイツキドンゴ, スイツキハゼ, ヒツツキ
- ・ 大型魚 ヤマジャコ
- ・ 色がきれい キンシャ
- ・ 子持ち サクライシャダ
- ・ その他 イサダ, イシハゼ, イシムクリ, イシャコ, イシャコツ, イシャダ, イシャダン, イシャド, イシャドン, オトヒメ, カジカ, カワハゼ, ガンショ, ガンショババ, ガンチョ, ガンチョババ, カンパ, ガンブツ, ギシャ, ギシヤン, ギシャンド, ギシヤンババ, シビンタ, ジャコ, チンボクイ, チンボスイ, トテ, トテコ, トビドンコ, ビショダ, フグサン, ホトケサン, ヤマメ, ロク, ロクチョ
- ・ チチブ類等との混称 クロンボ, ドロンコ, ドロンコチ
- ・ ドンコやハゼとの混称 ドンコ, ドンコツ, ハゼ,



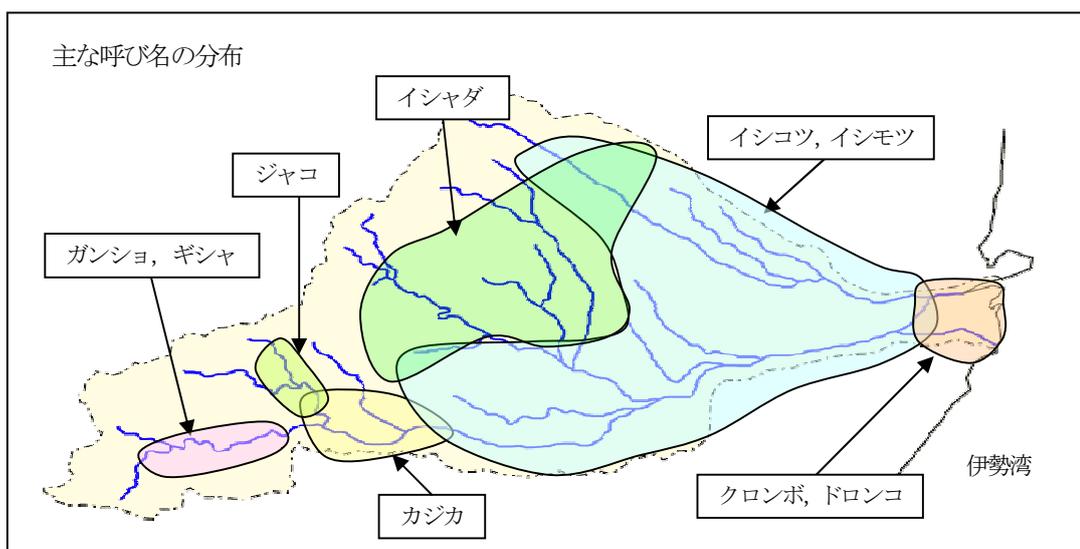
④ 分布と呼び名について

流域全域の川, 水路, 池などでよく見られたという。

呼び名としては, 吸盤で石を持つ姿に見えることから名付けられたと見られる「イシモツ」をはじめ, ドンコやハゼとの混称を含め計 53 種を採録し, 流域全体で多様な呼び名が見られた。

中下流域では, 広い範囲で「イシモツ」, 「イシコツ」を採録するとともに, 「スイツキ」などと呼んだ集落も見られた。

最下流域では汽水域に生息するチチブ類やドンコ等との混称と見られる「クロンボ」, 「ドロンコ」などを採録したほか, 鈴鹿川上流域の関町を中心とした地域では「カジカ」, 坂下地区では「ジャコ」, 加太地区では「ガンショ」, 「ギシャ」, また, 野登地区及び鈴峰地区では「イシャダ」などと呼ばれていた。



⑤ その他

最下流を除き, ドンコとの区別ははっきりとされていた。

(10) カジカ (カサゴ目カジカ科)

① 分布

(不明) 上流域を中心に採録

② 主に見られた場所

川

③ 採録した呼び名

- ・ 固有名 ダイコク
- ・ 固有名 (大型魚) イサダ
- ・ ドンコ等との混称 ドタ, ドンコ, ドンコツ, ドンゴ, フグ, フグタ

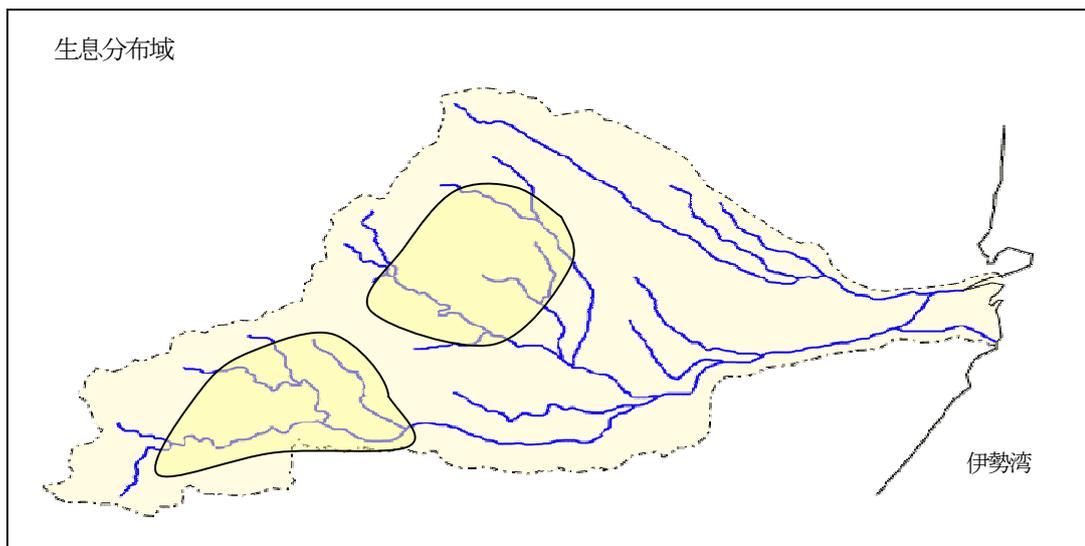
④ 分布と呼び名について

本種は、ドンコやヨシノボリ類と区別がつきにくく、写真を用いた聴き取り調査が難しいため、調査対象としなかったが、幹川の上流域において、ドンコやヨシノボリ類ではなく本種と見られる魚種の呼び名を採録したことから、そうした地域を中心として聴き取りを行った。

分布としては、鈴鹿川や安楽・御幣川の上流域、加太川で見られたようで、内部川については聴き取りからは、はっきりとしなかった。

呼び名としては、「ダイコク」をはじめ、ドンコ等との混称を含め計8種を採録した。

関町坂下地区において「ダイコク」、「イサダ」といった呼び名を採録したが、その他の地域では「ドンコ」などドンコとの混称で呼ばれる傾向にあった。



⑤ その他

聴き取り調査では、主として上流域の本川で見られた色の白いドンコとされたもの、ヨシノボリ類の大型のものを主として本種としたが、区別は明確でない場合がある。